

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	肝血管腫の造影パターンとサイズ変化に関する検討		
② 実施予定期間	実施許可日から 2029年3月31日		
③ 対象患者	以下の対象期間中に当院で2回以上腹部CTを受けられ、腹部ダイナミックCTで肝血管腫を指摘された患者さん		
④ 対象期間	2000年11月1日から2024年7月31日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	全診療科（先進救急医療センターを除く）		
⑦ 研究責任者	氏名	田辺 昌寛	所属 放射線科
⑧ 使用する情報等	<p>① 日常診療の記録から収集する項目：識別コード、年齢（初回の腹部ダイナミックCT検査時）、性別、現病歴、既往歴、血液検査結果（AST、ALT、総ビリルビン、アルブミン、血小板数、プロトロンビン時間）、CT画像</p> <p>② 本研究で検討する項目：肝血管腫のサイズ、個数、ダイナミックCTの造影パターン</p>		
⑨ 研究の概要	<p>肝血管腫は比較的頻度の高い肝臓の良性腫瘍です。典型的な肝血管腫のダイナミックCTでの造影パターンは、動脈相で辺縁に濃染を認め、徐々に中心部に造影効果が広がり、平衡相でも濃染が持続します。一方で、動脈相で全体的に強く濃染したり、腫瘍内部が変性して造影されにくいなどの造影パターンの血管腫も存在します。肝血管腫のサイズに関する経過を報告した論文は少なく、肝血管腫の長期経過については確立されていませんが、それに加えてこれまでに肝血管腫のダイナミックCT造影パターンと経時的なサイズ変化に関して検討した報告はありません。</p> <p>本研究の目的は、肝血管腫の経時的なサイズ変化を調べ、そのサイズが患者さんの年齢や性別、ダイナミックCTの造影パターン、肝硬変や慢性肝障害の有無と関連があるかを検討することです。本研究は肝血管腫の病態や経時的変化を推測する上で、基礎的な研究になります。</p> <p>本研究は学生の指導の一環として、研究協力者として医学部医学科の学生を加えて、特定の個人が識別できないように加工した情報を用いた解析を行います。</p>		

⑩ 実施許可	研究実施許可日	2024年12月9日		
⑪ 研究計画書等の 閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。			
⑯ 利益相反	ありません。			
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：田辺 昌寛			
	電話	0836-22-2285	FAX	0836-22-2285